

北海道学び推進月間の取組

オホーツク教育局
令和2年12月4日

北海道教育委員会では、毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」と定め、学力向上のための各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進することにより、「確かな学力」の向上を目指しています。

春と秋の「北海道学び推進月間」では、学校や家庭、地域において様々な取組が行われました。特色ある取組を紹介しますので、今後の取組の充実を図るため参考として御活用いただければと思います。

○ 北海道春の学び推進月間の取組

学校図書館利用促進に向けた取組

北海道留辺蘂高等学校では、図書局が中心となって学校図書館利用促進に向けた取組を実施しています。

図書局では、従前からの図書の貸し出し業務に加え、館内の装飾や“ポップ”を作成することで、生徒が利用しやすい環境作りに努めてきました。



【学校図書館の様子】

今年の4月からは、図書局員が推薦図書についてポスターを作成して、本校の特色である福祉系列に関する保育や介護の場面において活用できる図書を紹介し、授業で学んだ内容を振り返り、応用知識が習得できる書籍を宣伝しました。図書局顧問の北島多美子実習助手は「高校入学時は読書に興味がなかった生徒も授業で学んだことを生かしたいという意欲が感じられます。今後も利用が増えると思います。」と活動の手応えを感じている様子でした。

○ 北海道秋の学び推進月間の取組

「読書通帳」を活用した学校図書館利活用の促進

紋別市立南丘小学校では、今年度、文部科学省「学校図書館の振興に向けた調査研究事業」指定校として、児童の自主的、自発的な学習活動や読書活動の充実を図ることができるよう、学校図書館の整備とともに、「読書通帳」を導入しました。



【読書通帳】

「読書通帳」は、北海道紋別高等学校総合ビジネス科で、課題研究の授業として、高校生が作成したもので、通帳1冊に、読んだ本20冊分の履歴を書くことができます。

児童は、自身の読書履歴を振り返ることにより、読書への意欲が喚起され、読書時間が増加し、語彙が豊かになり、授業におけるコミュニケーションの質が向上しています。

今後も本事業を充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、児童対象のアンケート等により、取組の成果を把握したいと考えています。

「北海道学び推進月間」標語

- ☆最優秀作品（最優秀賞）☆ 北見市立緑小学校6年 岩井莉央さん
「ちしきとは 未来のとびら 開くカギ」
☆☆優秀作品（奨励賞）☆☆ 北見市立上常呂小学校6年 長部萌香さん
「学ぶとは 未来につながる 第一歩」
網走市立第二中学校1年 渡邊琉花さん
「学ぶこと 幸せだって 気づいてる？」
北海道常呂高等学校3年 澤向美羽さん
「分かること 増えてく喜び 開く未来」

今年度もたくさんの作品を応募いただきありがとうございました。